

# 令和2年度 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(担当：校長 小池勝也)

## ●在籍者数 (令和3年5月1日現在)

(単位：名)

学科	国際言語 コミュニケーション 学科	国際経営 学科	経営研究 学科	日本語 学科	計
入学定員	215	155	190	100	660
収容定員	430	310	380	200	1,320
新1年生	234	160	101	15	510
新2年生	180	173	137	4	494
計	414	333	238	19	1,004

## I. 令和2年度の事業概要

事業計画項目	達成度
海外提携大学との国際交流プログラム	コロナ禍において海外研修に代わり積極的なオンライン交流授業を実施。EMBA Business School (仏) と5回、ロンドン大学東洋アジア学院校 (英) と1回実施。 世界大学ランキング第1位 (ホスピタリティ教育分野) のローザンヌホテルスクール (スイス) とは「ホスピタリティの理解」「Covid-19のホスピタリティ業界への影響」というビデオ教材を作成、1、2年生全コースの学生約900名がオンラインで受講した。

## II. 令和2年度の取り組み

### 1. 令和3年度入学生募集活動 入試状況

※日本語学科においては令和2年10月生を含む数値

学科名	受験者数	合格者数	R3年度生 目標数	目標との差
国際経営	214	160	155	5
国際言語	296	233	215	18
経営研究	134	102	190	-88
日本語	10	15	100	-85
合計	654	510	660	-150

### <募集活動における課題と改善策>

#### (1) 【国内留学生募集】 実績 459名/目標 560名

出願数減少への改善策として、令和3年度出願実績校167校を中心とした日本語学校との連携強化、日本留学試験公開模擬テスト・教職員向け授業見学会の実施、学校説明会の改善の他、専門学校卒業見込生への募集活動、地方の日本語学校及び専門学校へのアプローチ、編入学既定の作成等を行う。特に充足率の低い経営研究学科・グローバルエクゼクティブマネジメントコースにおいては、差別化のため訴求コンセプト、カリキュラムの見直しを行う。

#### (2) 【海外募集】 実績 15名/目標 30名

コロナ禍の影響以外にも問い合わせ数、出願者数の減少は深刻であり、他の日本語学校との差別化が急務。欧州中心行っていたPR活動を見直し、アジアにおける既存及び新規エージェントとの関係強化を行い、集客力を強化する(ベトナム4社、モンゴル1社と打ち合わせ済み)。日本語習得のニーズの異なる国・地域別にカリキュラムの差別化(就職対策：欧米・アジア、進学対策：中国)を行い、オンラインを活用した来日前教育の強化や学校紹介の「World Open Day」の継続と内容改善を行う(令和2年度3回開催21名参加)。

#### (3) 【日本人】 実績 36名/目標 70名

出願者数の低迷を踏まえ、クラーク記念国際高等学校との高専連携の強化、外部ターゲット高校へのアプローチ強化(関東を中心とした指定校469校)、HP/SNS等Web媒体を活用した募集活動を高校訪問と連動して実施する他コース内容の見直し及び各コースの差別化の構築(就職・進学の出口戦略を明確にして訴求)、海外提携大学の卒業資格取得へ向けた編入学プログラムの開発と訴求(IPU NZ、海外MOU提携大学等)を行う。

### 2. 中途退学者数・防止策

学年	R2年度		原因
	退学数	退学率	
1年	116人	18.5%	就職(16)、進学(37)、除籍(16)、その他(47)
2年	16人	4.6%	就職(2)、進学(1)、除籍(4)、その他(9)

### <改善策>

(1) 前在籍校でのアルバイト時間超過で在留期間更新不許可になり、帰国退学する学生が問題となって

いるため、令和2年度募集から継続している入学基準の厳格化及び入学後の資格外活動に関する指導強化を継続する。

- (2) コロナ禍の不安から、卒業を待たずに就職、進学、帰国を決断する学生が増加し、今年度もアルバイト需要の減少による経済困窮が予想されるため、保護者とも連携を強化して退学を防止する。  
 (3) 進学希望の学生には、2年間しっかり勉強して難関大学へチャレンジするよう指導を強化する。

### 3. R2年度に実施した新たな事業内容の結果とR3年度への課題

項目	事業内容	R3年度への課題
国際言語コミュニケーション学科、経営研究学科における新コースの開設	(1) 国際言語コミュニケーション学科 Academic English コース (3名) (2) 経営研究学科 グローバルエクゼクティブ マネジメントコース (137名)	コースコンセプトやカリキュラムの差別化ができていない。他コースとの明確な差別化や卒業後の進路を踏まえて新たなニーズを生み出す取り組みが必要。魅力ある出口戦略を再構築する。

## III. 教育成果

### 1. 資格取得状況 (検定の一部を掲載)

資格名	受験者	合格者	合格率
日商簿記2級	39人	0人	0.0%
日商簿記3級	182人	43人	23.6%
全経簿記2級(商業)	21人	5人	23.8%
全経簿記2級(工業)	21人	12人	57.1%
全経簿記3級	107人	33人	30.8%

#### <課題と改善策>

コロナ禍で就活が厳しい状況の中、資格取得の必要性を学生たちに伝え、三密を避けた対面での資格対策ゼミを開講し、チャレンジ精神や諦めない精神を身につける重要性を指導する。

### 2. 進学・進路状況

進学・進路先	専門課程		日本語学科	
大学院	7	2.7%	0	-
4年制大学	34	13.1%	0	-
短期大学	8	3.1%	0	-
専門学校	13	5.0%	8	72.7%
就職	90	34.6%	0	-
その他	108	41.5%	3	27.3%
計	260		11	

#### <主な進学・進路先>

就職：ヤマト運輸(株)、一般財団法人日本ハラル協会、くら寿司(株)、(株)アンビシャス、(株)リングロー、新世紀海運(株)、松山鋼材(株)、パークホーム(株)、(株)ユニベイトジントル(株)、社会福祉法人紫水会、(株)ノンストップダイニング、(株)ベジコープ、学校法人愛光学園山手日本語学校、サミット(株)、(株)シルババックス・プリンシパル、さくらインターナショナル(株)、他(順不同)

大学院：東京都立大学大学院、明治学院大学大学院、他(順不同)

大学：獨協大学、明治大学、拓殖大学、東京理科大学、東京国際大学、明治大学、國學院大學、東洋大学、法政大学、法政大学、日本大学、武蔵野大学、公立鳥取環境大学、山形大学他(順不同)

#### <課題と改善策>

コロナ禍の影響で留学生向け求人が激減し、内定率が78.3% (全国専門学校内定率64.4%)に留まった。対面指導が減少した結果、全体的に就職活動が消極的であったため、新年度においては定期的な就職相談、履歴書・面接相談会を可能な限り対面で実施する。また、入試情報の提供を積極的に行い、特に中国人学生の進学志向に応えるためEJU攻略ゼミ等を開講する。

### 3. その他特筆すべき事業成果

項目	事業内容・結果
(1) 「日本留学 AWARDS」 8年連続入賞 4年連続大賞受賞	8年連続で専門学校部門の上位にノミネートされ、4年連続で大賞を受賞。
(2) ビジネス特別講義開講	ハレクラニ沖縄 人材開発部長 木元貴俊様による特別講義を2回開講。

以上